



## ケローナ市ってどんなまち？

ケローナ市は、カナダ太平洋岸ブリティッシュ・コロンビア州のバンクーバー市から東へ約 395 kmに位置し、街の中央にはオカナガン湖があり、湖周辺の盆地に開けた都市です。

人口：約 12万 7500 人【春日井市：約 31万 1000 人】

面積：211.82 km<sup>2</sup>【春日井市：92.78 km<sup>2</sup>】

ケローナ市のまちなみ（オカナガン湖畔）



＼ ゴルフ場が多数点在 ＼



＼ 冬は大自然でスキーを満喫 ＼

市では、昭和56年2月にカナダのケローナ市と姉妹都市提携を結び、この2月で40周年を迎えます。ケローナ市とは、現在に至るまで、親善訪問団の派遣・歓迎や青年大使の受け入れなどを通じて市民交流を行い、絆を深めてきました。今回の特集では、ケローナ市の魅力やこれまでの歩みを紹介するとともに、両市長のメッセージや実際に交流した皆さんに姉妹都市交流への思いを聞きました。

ささえ愛センター（☎56-1943）

### 特色

果物の産地として有名で、リンゴやナシ、サクランボ、ブドウなど多くの果樹園やワイナリーが広がっています。気候は比較的温暖で、オカナガン湖をはじめ美しい自然に恵まれていることから、リゾート地として知られています。

# 姉妹都市交流40年の歩み。その先へ

# 姉妹都市交流の歩み

昭和52年からケローナ市との間で、青少年を中心とした市民間交流が始まり、翌53年、ケローナ市長から青少年訪問団を通じて姉妹都市提携を希望するメッセージが届けられたことがきっかけで、昭和56年2月にケローナ市で姉妹都市提携調印式を行い、姉妹都市交流がスタート。今日まで活発な交流が続き、友好関係を築いてきました。

「春日井公園  
(春日井ガーデン)」起工  
【ケローナ市】



昭和  
59年

「ケローナ通り」完成  
記念碑「セイル」建立  
【春日井市】



昭和  
58年

姉妹都市提携調印式  
【ケローナ市】



昭和  
56年

提携10周年記念  
記念植樹  
【春日井市(ケローナ通り)】



平成  
3年

平成  
9年

記念碑「友情の輪」建立  
【ケローナ市(春日井公園)】



提携20周年記念・記念植樹  
【ケローナ市(春日井公園)】  
提携20周年記念・記念植樹  
【春日井市(市役所ポケットパーク)】

平成  
13年



ケローナ市  
(春日井公園)

記念碑「友情の輪」建立  
【春日井市(市役所南)】



平成  
30年



親善訪問団との  
春日井まつりパレードの様子

記念事業以外にも、市民交流や親善を目的に、親善訪問団とさまざまな相互交流を図ってきました。

## 姉妹都市提携40周年 記念イベント

### 写真展

姉妹都市交流40年の歩みを振り返る写真展を開催します。

展示場所：市役所1階市民ホール  
展示期間：2月26日(金)まで

※新型コロナウイルス感染症の影響により、延期になる場合があります。詳しくは、問い合わせください。

### ロゴマーク作成

40周年を記念し、姉妹都市提携についてさらに愛着を持ってもらえるよう、「春日井市姉妹都市市民の会」が記念ロゴマークを作成しました。



### PR動画制作

40周年を機に、さらに姉妹都市交流に興味を持ってもらえるよう「春日井市姉妹都市市民の会」がPR動画を制作します。

公開場所：「JR春日井駅デジタルサイネージ」「市公式YouTubeチャンネル」など



伊藤 太

## 市長からの

春日井市とケローナ市の姉妹都市交流が、40周年という節目の年を迎えたことを、大変喜ばしく思います。二つの都市が言葉や文化の違いを越えて友好関係を築くことができたのは、お互いを思いやる気持ちと、友情を大切にしたいと思う心であり、交流を支援してくださった多くの皆様に改めて感謝を申し上げます。

春日井市は昭和56年2月5日にケローナ市と姉妹都市提携し、その友好の証として、春日井市では「ケローナ通り」へ記念碑「セイル」を設置し、ケローナ市には日本庭園の「春日井公園」が造られ、交流を行ってまいりました。

また、市民団体である春日井市姉妹都市市民の会と協力・連携をし、相互の理解と友情を深めるため、交流活動を行っており、訪問団の派遣、受け入れや毎年、春日井まつりの開催時期に合わせて来訪するケローナ青年大使の歓迎に加え、市民レベルでの交流が活発に行われています。

今後は、40年間で培ってきた友情と信頼の絆がより一層深まるよう、両市の皆様とともに交流の輪が増々広がっていくことを期待しております。

## view

## 流への思い

流が制限される中、コロナを乗り越え、度、実際に交流活動をした皆さんに、思いを聞きました。

春日井ガールスカウト団  
中西 玲奈

私はホームステイで一週間ケローナ市に滞在しました。皆さんすごく温かく、私自身英語が苦手でもコミュニケーションに不安を持っていましたが、日本語で話しかけようとしてくれて、とても親切にしてください

ました。

ケローナのスカウト団とは、和菓子など日本の伝統的な食文化を紹介したり、ケローナ伝統工芸の刺繍などを教えてもらうなどの文化交流や合同キャンプで一緒に料理を作ったりしました。全てが貴重な経験で大切な思い出です。交流を通じて、自分の世界がより広がったと感じます。

今はコロナで交流活動も難しいかもしれませんが、今後ケローナ市との交流がさらに広がっていったら嬉しいです。



Colin Basran  
(コリン・バスラン)

春日井市から贈られた設計図をもとに造られたものです。そこは、毎年たくさんの方の住民や訪問者に楽しまれている憩いの場所となっています。

ケローナ市は春日井市の姉妹都市として40周年を迎えることを大変光栄に思います。

私たちの姉妹都市関係は非常に有意義であり、1981年につつましく始まってから、ケローナの人々はこの温かく寛大な友情の恩恵をさまざまな形で享受してきました。そして今では、春日井市と日本の文化はケローナの文化に影響を与えています。

私たちの市の中心にある美しい「春日井公園」は、

地球と社会に目を向ける環境問題と高齢化問題は両市の共通の課題です。私たちの社会は多くの点で異なりますが、それでも多くの共通点があり、その共通点が何世代にもわたって私たちを結びつけるつながりの基礎となっています。

春日井市が相互の文化、社会、経済において縁を深め、友情を継続していることに感謝しております。日本とカナダのように、春日井市とケローナ市の友好関係が、今後も発展し続けることを願っております。

(日本語訳)

Inter

姉妹都市交

新型コロナウイルスの影響により国際交この絆を未来につなげるために令和元年姉妹都市交流への



ケローナ青年大使  
プリヤンカ・カンティ

私はケローナ青年大使(レディ・オブ・ザ・レイク)として第43回春日井まつりに参加しました。ホームビジットではホストファミリーの皆さんが本当の家族のように接してくれて、日本文化について教えてくれました。素晴らしい食事や書道体験、

着物の試着体験は一生に一度の体験のように思います。

好意的で優しい春日井市の皆さんはいつまでも私の心の中にいて、ケローナ市役所のそばにある春日井公園内のモニュメント「友情の輪」を訪れるたびに日本で過ごした時を思い出します。

現在は新型コロナウイルス感染症によって、交流が制限されていますが、ケローナと春日井の姉妹都市関係が、この先何十年にもわたって成長し続けることを願っています。

(日本語訳)

